

# 国土交通省における復旧・復興事業の更なる施工確保対策(概要)①

背景

これまでの継続的な事業費の減少に伴う建設企業の抱える技術者等の減少 [供給の減少]  
被災地におけるがれきの処理を始めとした多くの復旧・復興事業の発注 [需要の増加]

課題

労賃などが上昇し、実勢価格との間に乖離

技術者や技能者の不足

これまでの対策

国土交通省における対策 (2月14日公表)

< 予定価格の適切な算定 >

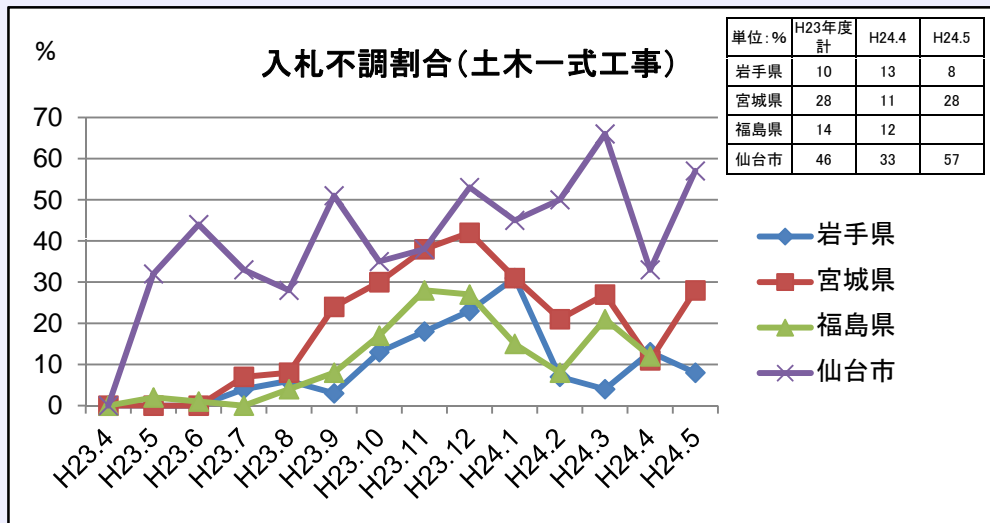
- 実勢価格を反映した公共工事設計労務単価の設定
- 急激な物価変動に伴う請負代金額の変更
- 発注ロットの拡大を踏まえた間接工事費の算出
- 被災地以外からの労働者の確保に要する追加費用への対応

< 技術者等の確保 >

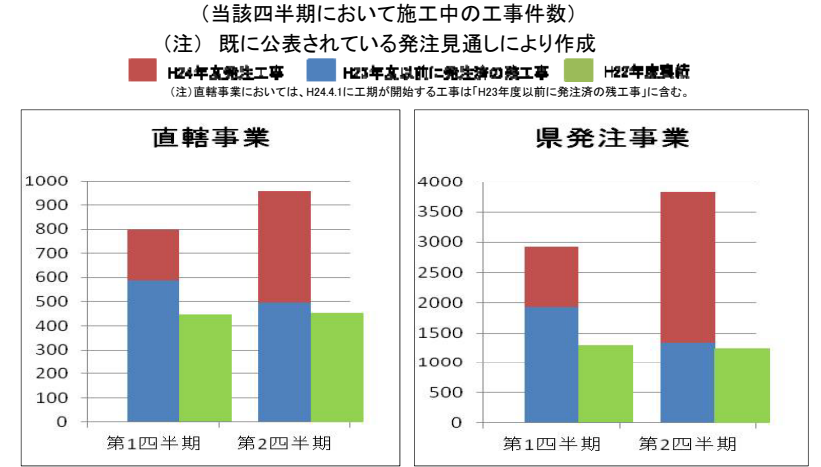
- 復興JV制度の創設
- 一人の主任技術者が管理できる近接工事等の明確化

現状と見通し

○昨年のピーク時と比べると入札不調はやや減少傾向が見られるが、今後、膨大な復興事業の発注が見込まれる。



被災3県における直轄事業及び県発注事業の四半期始期残工事件数



# 国土交通省における復旧・復興事業の更なる施工確保対策(概要)②

## 復旧・復興事業の施工確保に関する連絡協議会

【構成員】(平成24年6月15日現在)

<省庁関係>

国土交通省、復興庁、農林水産省、厚生労働省、環境省

<地方公共団体>

岩手県、宮城県、福島県、仙台市

<関係業界団体>

(社)日本建設業連合会、(一社)全国建設業協会

(社)建設産業専門団体連合会、(社)全国鉄筋工事業協会

(社)日本建設大工工事業協会、(社)日本建設躯体工事業団体連合会

## 国土交通省における更なる施工確保対策

(6月15日公表)

### <事業のスピードアップのための市町村等の発注業務支援>

#### ○市町村の復興まちづくりを推進するための新たな発注方策の検討

→CMを活用した設計・施工一括発注方式により、復興まちづくり事業のスピードアップ、市町村のマンパワー・ノウハウの補完、地元企業の活用を図る。  
(→事業化の進捗状況や地方公共団体の意向を踏まえて具体の事業をモデルとして順次実施。)

### <予定価格等の適切な算定>

#### ○実勢価格を反映した公共工事設計労務単価の設定

→前回改定(2月20日)以降の直近の労務単価の実態を反映(6月中に新たな単価を適用)

#### ○市場高騰期における労務費・資材費の補正による積算の実施

→労務・資材価格が急騰した場合等において、見積もりを積極的に活用して積算する方式を実施(6月中に関連通知を发出予定)

#### ○点在する工事での工事箇所毎の間接費算定

→発注者の判断により、市町村をまたがなくても工事箇所毎の間接工事費の算定を可能とする(6月中に関連通知を发出予定)

#### ○宿泊等に係る間接費の設計変更の導入

→労働者の確保方策に変更があった場合に必要となる間接費について、設計変更での対応を可能とする(6月中に関連通知を发出予定)

#### ○建設資材の遠隔地からの調達に伴う設計変更の導入

→需給逼迫等により建設資材を他地域からの調達に変更せざるを得ない場合、輸送費について設計変更での対応を可能とする(6月中に関連通知を发出予定)

### <技術者・技能者の確保>

#### ○作業員宿舎建設に係るスキーム及び支援制度の提示

→設置主体別の作業員宿舎建設に係るスキーム及びその際に活用可能な支援制度を提示

#### ○宿泊等に係る間接費の設計変更の導入(再掲)

#### ○復興JVの活用を促進するための環境整備

→被災地での工事実績が地元の工事実績に反映される等の仕組みの検討

### <資材の確保>

#### ○資材連絡会・分科会の設置・拡充

→建設資材の需要・需給の見通しを公共工事発注機関、資材団体、建設業団体等で情報共有。

必要に応じ、資材別・地区別での情報連絡会を開催(→既に実施済。今後必要に応じて対象を適宜拡大)

#### ○建設資材の遠隔地からの調達に伴う設計変更の導入(再掲)

新たな対策

以下の点に留意した上で、復旧・復興事業の施工確保対策を進める。

- ①地域の持てる力を最大限に活用した上で被災地域と被災地域外との積極的なマッチング
- ②工事施工に伴う公衆災害、労働災害等の発生を防止するための適正な安全管理、労務管理の徹底
- ③下請へのしわ寄せや法令違反等に対して、監督部局との連携や必要に応じた体制の強化も含めて対応

# 市町村の復興まちづくりを推進するための新たな発注方式の検討 (CMを活用した設計・施工一括発注方式)

## 従来の発注方式

### 【デメリット】 発注事務負担が大きい

・調査・設計をコンサルに発注し、設計完成后、工事施工を建設業者に発注  
→事業完了まで時間を要する

・設計の前の計画・調査は市町村が実施  
→複数の大型事業を同時並行して進めるだけのマンパワー・ノウハウが市町村に不足

・地区毎、事業毎に別々に工事を発注  
→各事業の工事統括を発注者が担う必要  
→一括発注すると地元企業の活用が図られないおそれ

## CMを活用した設計・施工一括発注方式

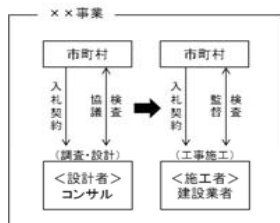
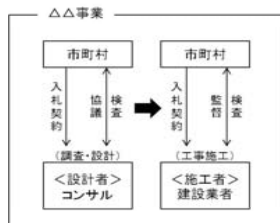
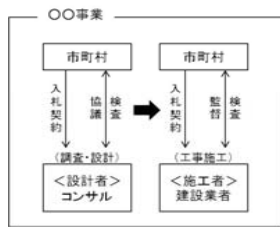
### 【メリット】 発注事務負担の軽減

・調査・設計と工事施工を一括で1つの発注  
→設計のできた所から施工を開始するなど民間の知恵を生かした復興まちづくり事業のスピードアップ

・計画・調査段階もCMr(コンストラクションマネージャー)が市町村を支援  
→市町村のマンパワー・ノウハウの補完

・複数地区、複数事業を一括で発注  
→各事業の工事統括はCMrが実施  
→CMrを通じて発注者(市町村)の関与が可能  
オープンブック方式の採用等による契約の透明化 } **地元企業の活用**

### 【従来パターン】

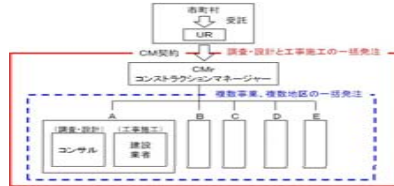


### 【検討パターン】

※各手続における透明性、公正性を確保する必要。

【アットリスク型】 発注者の承認を得ながら、計画、設計、調整、施工管理など発注者業務を代行して実施(発注者代行型)

・URが市町村業務を受託するケース (URがCMrに発注)

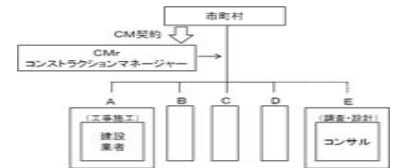


・URが市町村業務を受託しないケース (市町村がCMrに直接発注)



【ピュア型】 計画、設計、調達、施工管理など主として発注者が行うマネジメント業務をサポート(発注者支援型)

(市町村が業者に直接発注。CMrはマネジメントのみ)



### 【実施工程】

事業化に向けた検討が先行している、URと市町村の間に支援協定が締結されている地区をモデルとして検討。

<詳細な検討>  
 ・CMrの選定方法  
 ・CMrの業務報酬  
 ・コスト縮減等に対するCMrへのインセンティブの付与  
 ・CMrとの契約範囲と責任分担  
 ・CMrによる発注における客観性の確保対策 等

<検討主体>  
 ・国土交通省 ・復興庁 ・UR ・有識者 等

事業化が決定した地区において、検討した方式に基づくCMrの公募 (7月～)

成果を反映

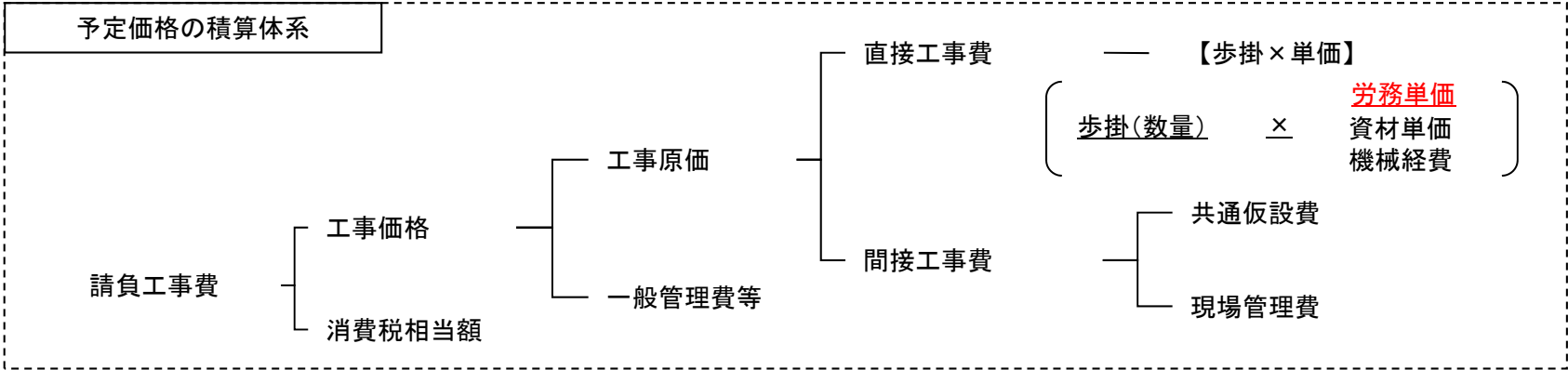
国土交通省、復興庁を中心に、自治体に対して本方式を周知し、自治体における事業化に向けた進捗状況や本方式の活用意向を把握した上で、具体的な自治体の事業へのあてはめを検討。

説明会や復旧・復興事業の施工確保に関する連絡協議会等の開催により、自治体に基本的な実施方式を周知し、実施をサポート

# 実勢価格を反映した公共工事設計労務単価の設定

## 公共工事設計労務単価の概要

- **性格:** 公共工事の予定価格の積算用単価(国、地方公共団体、独法等が積算に利用)  
 ※ 個々の契約(下請契約における労務単価や雇用契約における労働者への支払い賃金)を拘束するものではない
- **設定:** 毎年10月、国、都道府県、政令市等発注の公共工事に従事する建設労働者(約20万人)の賃金支払い実態を調査し、取引の実例価格として年1回設定。



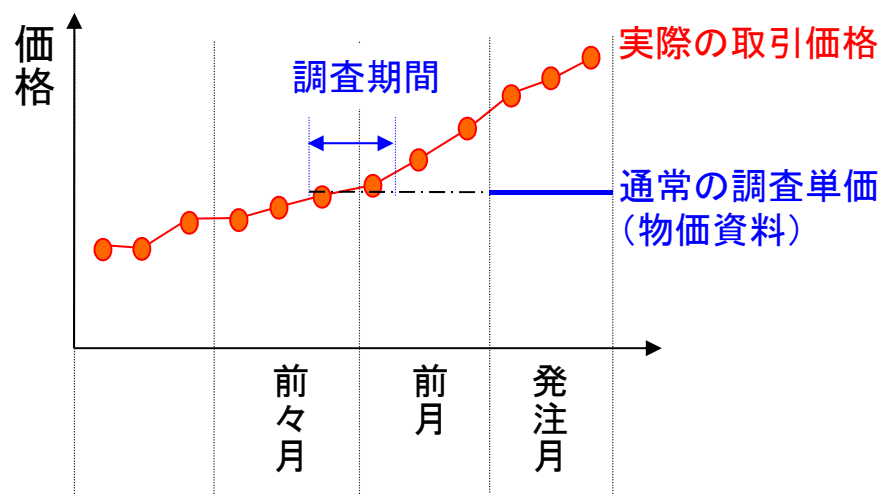
## 実勢価格を反映した労務単価の設定

- **岩手県・宮城県・福島県における公共工事設計労務単価:**  
 被災地において労務単価の急激な変動が見られ、現在の公共工事設計労務単価が「取引の実例価格」と言えない状況が発生していること、被災三県において不調・不落が多発しており、労務単価の見直しが求められていることから、建設企業への調査や統計調査の結果等(現時点で得られる被災地の労務費の実態を表わす調査すべて)を活用した最新月への補正係数を算出し、現在の設計労務単価に乗じて補正した単価を、2月20日より適用している。  
 また、2月の単価改定後も労務単価の変動が見られることから、6月中を目途に、2月と同様の手法による単価の改定について関係省庁と調整を行っている。

# 資材価格・労務費等の高騰が著しい場合の見積方式による 予定価格への適切な反映

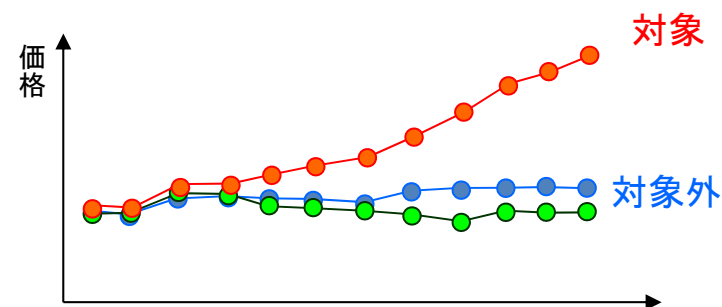
価格変動が著しい場合には、通常の積算価格では、市場価格を適切に反映することが困難。

- ◆価格変動が著しい資材等については、調査から単価公表等までのタイムラグにより、実際の取引価格と通常の調査単価に乖離が生じている恐れがある。



価格変動が著しい特定の地域について、見積もりを積極的に活用して積算に市場価格を反映する。

- ◆被災3県内において、特定の地域で資材等の著しい価格変動が確認された場合は、見積もり調査を実施。



- ◆見積もり調査結果は、1月以内※に発注する他の発注にも適用。(発注事務の軽減)

※労務費については、数ヶ月以内の当該地域の発注に適用。

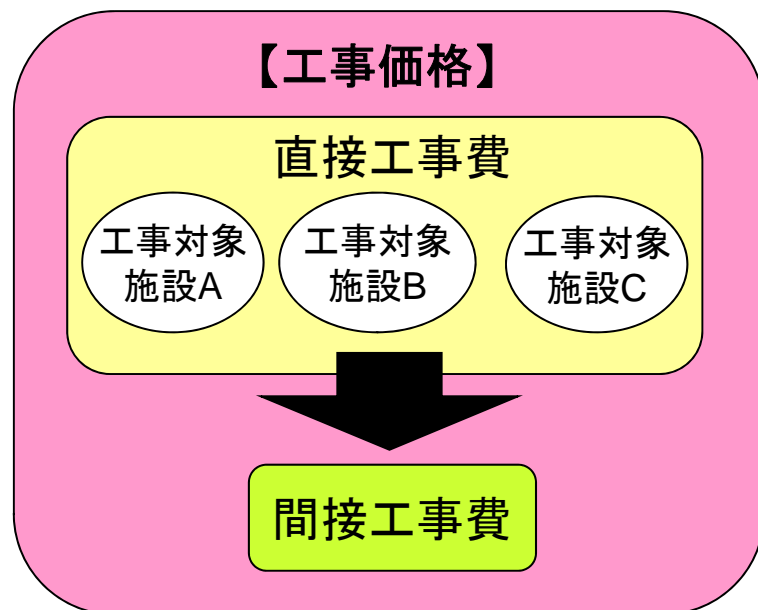
○施工箇所が点在する工事については、建設機械を複数箇所に運搬する費用や複数箇所の交通規制等がそれぞれの箇所で発生するなど、積算額と実際にかかる費用に乖離が生じることが考えられるため、「施工箇所が複数ある工事については、工事箇所(市町村単位)ごとに間接工事費(共通仮設費、現場管理費)の算出を可能とする。」こととしている。

○これまでは、工事箇所が市町村をまたいで点在することを要件としていたところ、市町村合併により市町村の面積が拡大したことを受け、発注者の判断により、市町村をまたがなくても工事箇所の点在により間接費の増が見込まれる工事について、適用可能とする。

## ■間接費計上のイメージ (例:同一市町村内での複数施設の補修工事を行う場合)

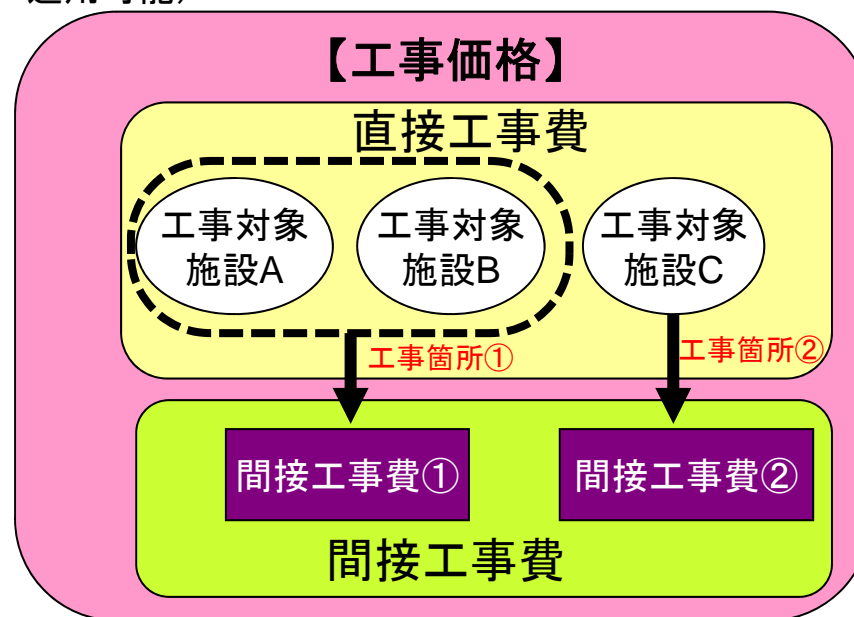
### ○通常の積算方法

※直接工事費の総価に間接費率を掛けて計上



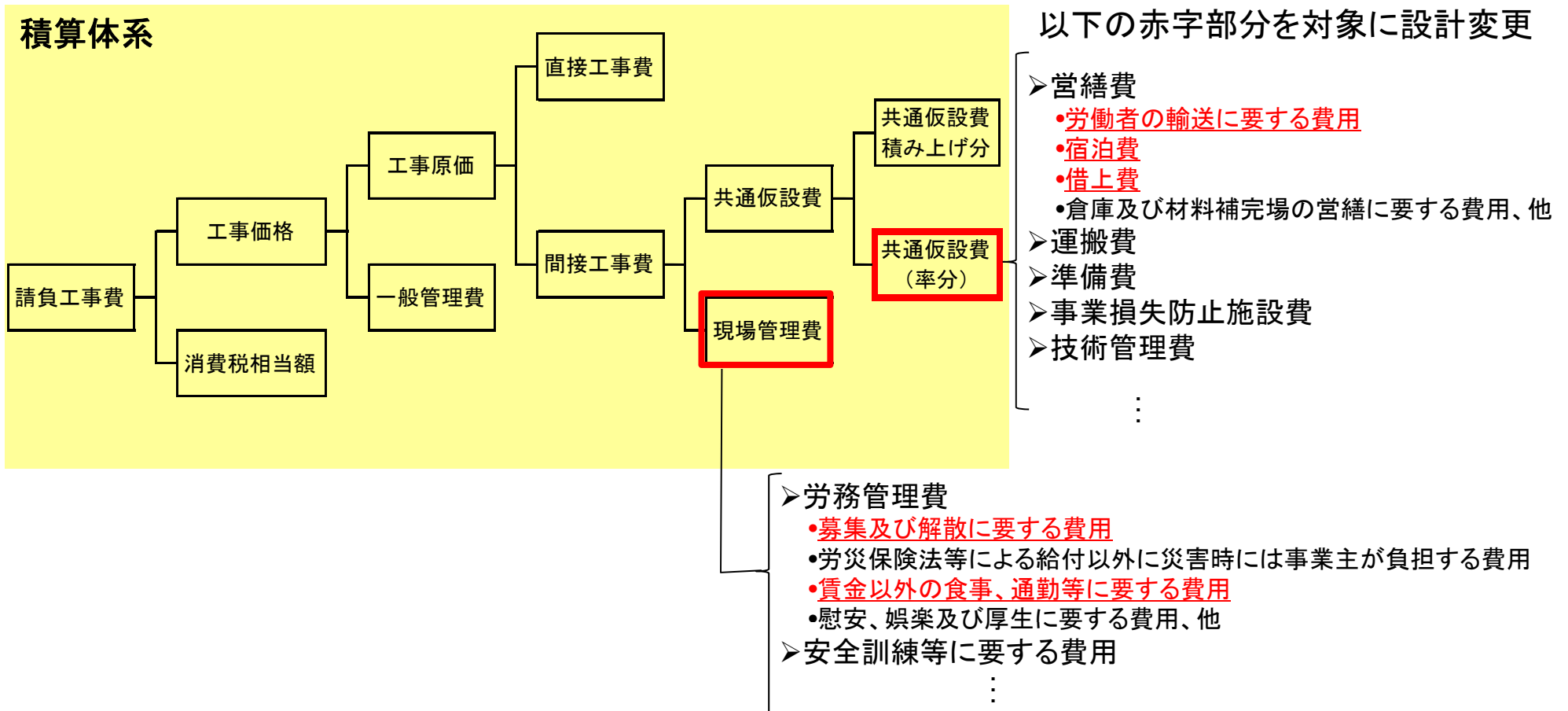
### ○複数の工事箇所での算出方法

※複数の工事箇所毎に間接費を計上(市町村をまたがなくても適用可能)



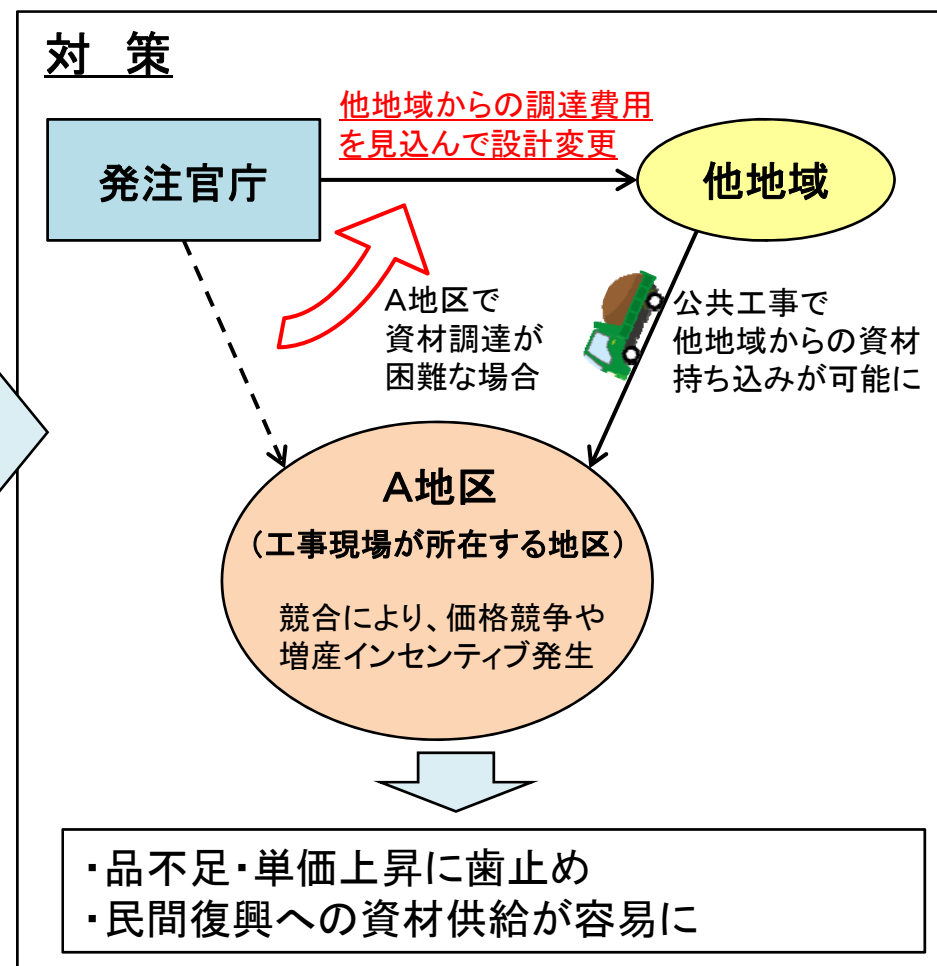
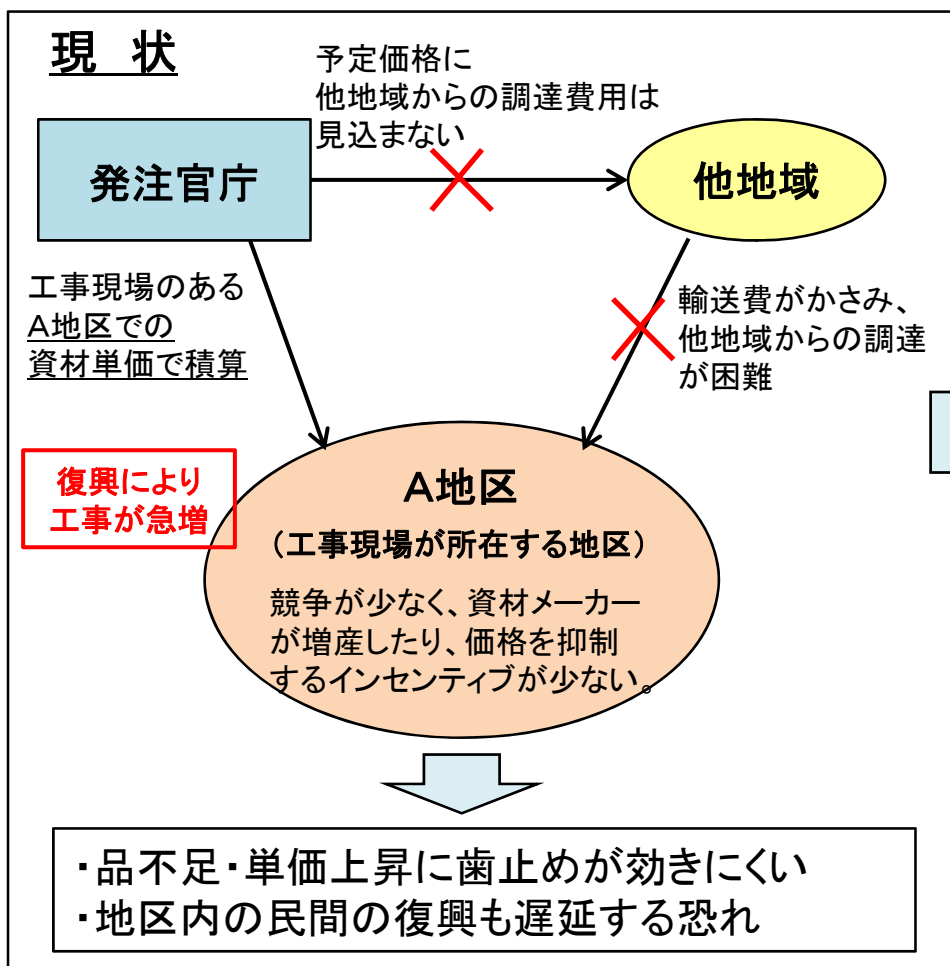
# 宿泊等に係る間接費の設計変更の導入

- 東日本大震災被災地では、地域内では労働者を確保出来ないため、地域外の労働者で対応せざるを得ず、宿泊費や長距離通勤により、施工者の負担増が復興事業の足かせとなっている。
- これらの費用は、予定価格において全国の実績調査を基に率計上で積算をしているが、労働者の確保方策に変更があった場合に必要となる間接費について、設計変更により対応できるようにする。



# 建設資材の遠隔地からの調達に伴う設計変更の導入

- 被災3県の沿岸地域を中心に、砕石等の供給不足が生じる恐れがあり、不足分を他地域から調達した場合は、他地域から工事現場への輸送費がかかるため、積算額と実際にかかる費用に乖離が生じる。
- そのため、工事現場が所在する地区において建設資材の需給ひっ迫等が生じ、他地域からの調達に変更せざるを得ない場合には、工事の設計変更を行うものとする。





- 被災地における復興事業が本格化し、被災地以外からの現場作業員の増加が見込まれる中、工事に従事する作業員の宿舎が不足し、事業の円滑な施工に支障が生じることが懸念される。
- 作業員の宿舎不足の問題への対応として、例えば以下の①～③のようなケースが考えられるところであり、各種支援制度を活用可能とする。

## ケース① 建設業団体や事業協同組合等が設置する場合



- （一財）建設業振興基金の債務保証制度を活用

## ケース② 建設企業や企業連合等が設置する場合



- （一財）建設業振興基金の債務保証制度を活用
- 厚生労働省の建設雇用改善推進助成金を活用（※）

※設置場所や入居者などについての一定の要件を満たした場合

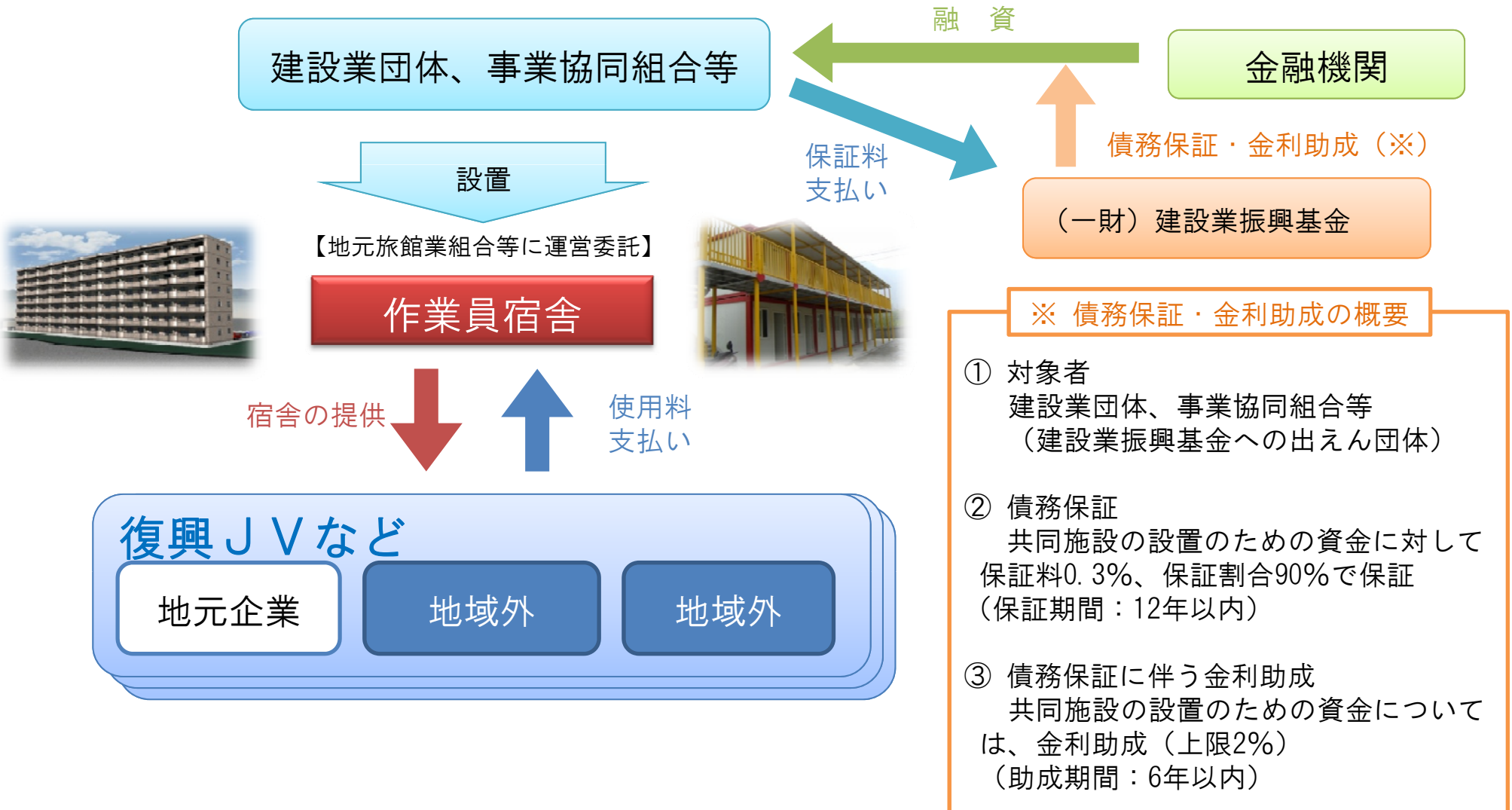
## ケース③ 企業等グループが設立した事業協同組合が設置する場合（案）



- （一財）建設業振興基金の債務保証制度を活用

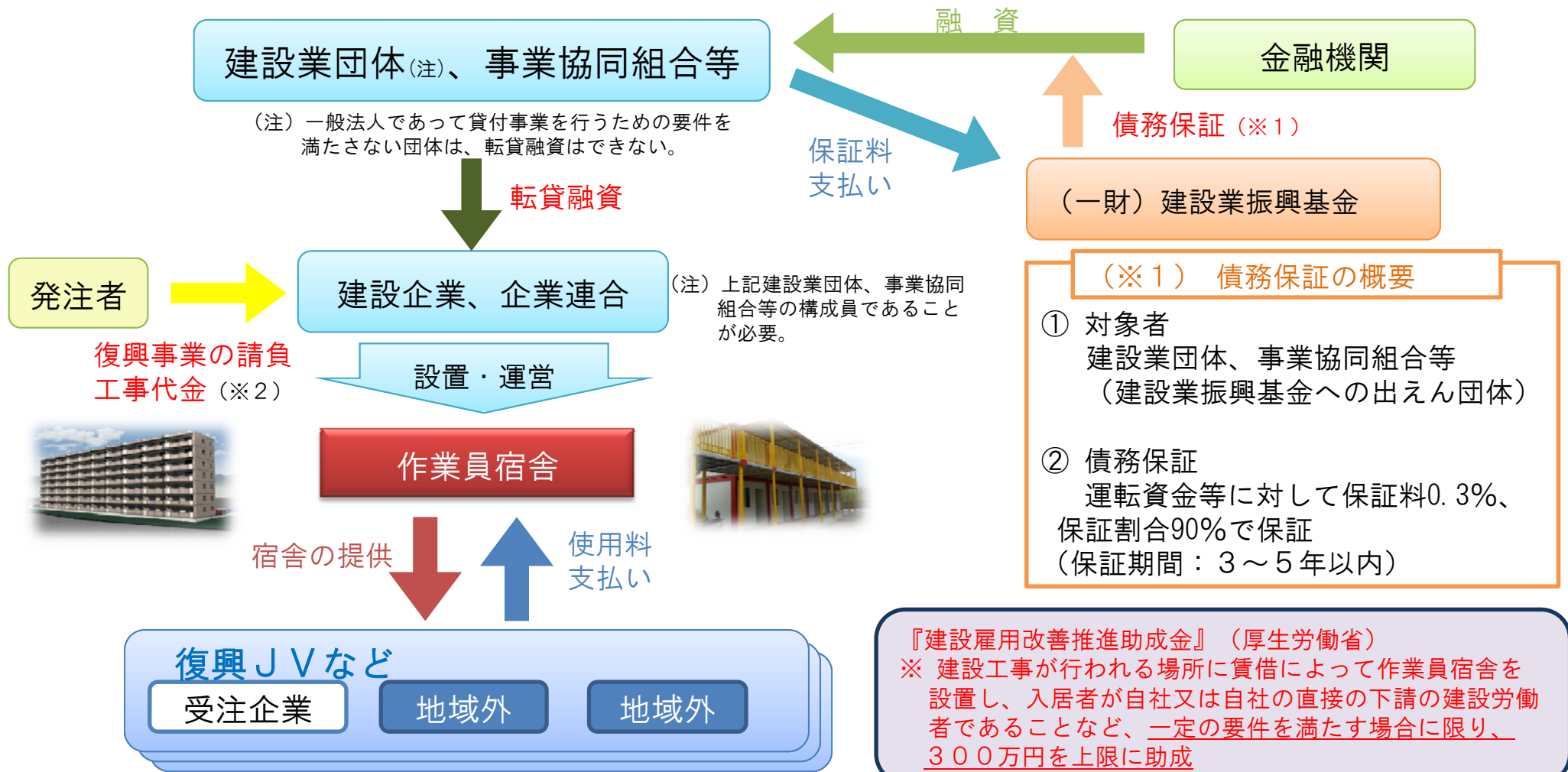
# 作業員宿舎建設スキーム①(建設業団体等が設置する場合)

- 建設業団体や事業協同組合等が、傘下の建設企業の作業員等のための宿舎を設置する。
- 宿舎設置にあたっては、(一財)建設業振興基金の債務保証制度等を活用。



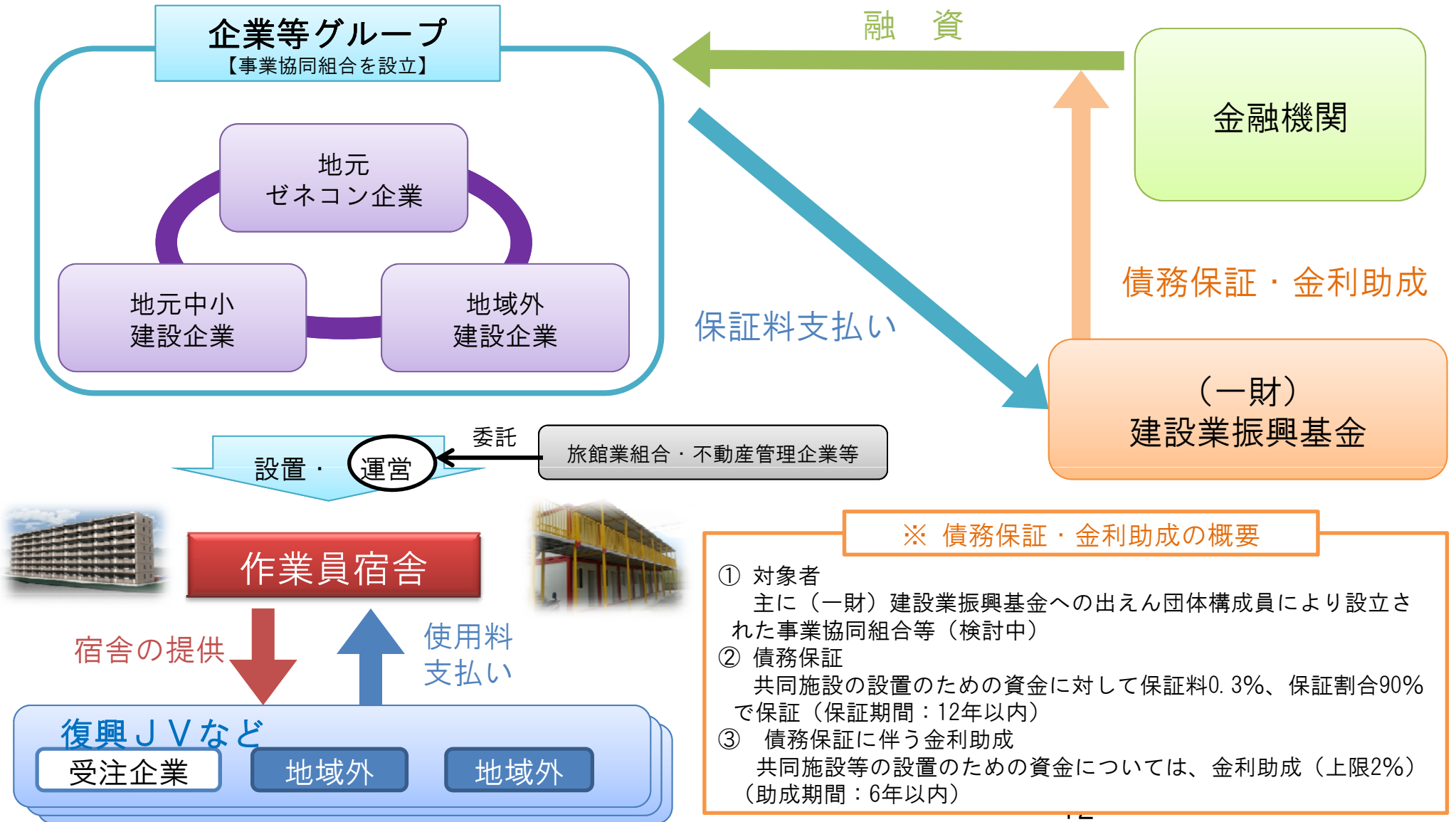
# 作業員宿舎建設スキーム②(建設企業等が設置する場合)

- 個々の建設企業や企業連合等が、受注した復興事業の建設工事に従事する作業員のための宿舎を設置する。
- 宿舎設置にあたっては、**工事請負代金**の共通仮設費等、**(一財)建設業振興基金の債務保証制度**を活用した**建設業団体からの転貸融資**を活用。
- 設置場所や入居者などについての一定の要件を満たした場合は、**建設雇用改善推進助成金**を活用。



(※2) 復興事業の請負工事代金には、現場労働者に係る諸費用として共通仮設費等が含まれている。

- 地元建設企業や地域外建設企業等が作業員宿舎建設・運営のためのグループを形成し、事業協同組合を設立。
- 宿舎設置にあたっては、(一財)建設業振興基金の債務保証制度等を活用。



### ※ 債務保証・金利助成の概要

- ① 対象者  
主に(一財)建設業振興基金への出えん団体構成員により設立された事業協同組合等(検討中)
- ② 債務保証  
共同施設の設置のための資金に対して保証料0.3%、保証割合90%で保証(保証期間:12年以内)
- ③ 債務保証に伴う金利助成  
共同施設等の設置のための資金については、金利助成(上限2%)(助成期間:6年以内)

# 復興JVの活用を促進するための環境整備

復興JV制度の導入が始まりつつあるが、復興JVに参加した地域外の建設企業における被災地での工事受注の評価が課題となっており、復興JVに参加した企業について、被災地での受注工事の工事実績への反映の在り方について検討する必要。

## 〈復旧・復興建設工事共同企業体(復興JV)制度の導入状況〉(平成24年6月13日時点)

### 宮城県における運用状況

- ①対象工種 土木一式、舗装工事
- ②予定価格 1億円以上3億円未満:北海道・東北の企業構成を中心  
3億円以上5億円未満:国内企業
- ③構成員数 2~3社
- ④代表者 土木一式及び舗装工事共に出資比率に関わらず県内の最上位等級
- ⑤登録状況 14件申請/うち登録済は13件  
構成員企業(北海道1、秋田1、山形1、群馬1、  
東京4、新潟3、長野1、大阪1)
- ⑥工事公告 平成24年5月28日より復興JV対象工事の公告を開始

### 仙台市における運用状況

- ①対象工種 土木一式、舗装工事
- ②予定価格 1千万円以上5億円未満
- ③構成員数 2~3社
- ④代表者 出資比率に関わらず県内企業  
土木工事:格付け評点800点以上  
舗装工事:格付け評点750点以上
- ⑤登録状況 2件申請/うち登録済みは1件  
構成員企業(秋田1)

### その他の自治体における運用状況

宮城県石巻市で導入(平成24年5月15日導入) 登録状況:2件申請/うち登録済みは2件

### 国土交通省における運用状況

○東北地方整備局において試行

- ・海岸復旧工事については、6月下旬から7月中旬頃に発注する10件について適用予定。
- ・港湾空港関係工事については、6月4日から登録受付開始。7月1日以降に公示する災害復旧工事(予定価格5.8億円未満)に適用。

## 〈他機関発注分の工事評価について(国土交通省調べ)〉

### 競争参加資格審査における主観点への反映

- ・工事受注実績...5都道府県
- ・工事成績...1都道府県

### 総合評価における評価項目

- ・工事受注実績...39都道府県
- ・工事成績...11都道府県

# 資材連絡会・分科会の設置・拡充

○ 建設資材対策東北地方連絡会において、建設資材の需要・需給の見通しを、公共工事発注機関、資材団体、建設業団体等で情報共有し、建設資材の安定確保を図る。また、必要に応じ、資材別・地区別での情報連絡会を開催する。

## 東北ブロック

### 建設資材対策東北地方連絡会

事務局：東北地方整備局  
 構成機関：国、都道府県・政令市、独立行政法人、建設業団体、資材団体等

- ・H23年度(第1回) H23.7.29    ・H24年度(第1回) H24.4.20
- ・ " (第2回) H24.1.30
- ・ " (第3回) H24.3.16    ※以下、当面各月開催予定

### 資材別(分会)

- ※ひっ迫する資材毎に、必要性を考慮して開催予定
- 鋼矢板(仮設)資材対策関係者打ち合わせ
- ・第1回 H24.3.27                      ・第2回 H24.4.20

## 地区別(分会) ※ひっ迫する地区別、資材別で開催予定

### 岩手県

- |                   |          |                    |          |
|-------------------|----------|--------------------|----------|
| ○宮古地区復旧・復興工事情報連絡会 | H24.5.30 | ○久慈地区復旧・復興工事情報連絡会  | H24.5.31 |
| ○釜石地区復旧・復興工事情報連絡会 | H24.5.29 | ○大船渡地区復旧・復興工事情報連絡会 | H24.5.29 |

### 宮城県

- |                |          |                     |          |
|----------------|----------|---------------------|----------|
| ○宮城県分会(生コン・碎石) | H24.3.27 | ○生コン(仙台、石巻地区)関係者打合せ | H24.3.16 |
|                | H24.5.23 | ○石巻地区復旧・復興工事情報連絡会   | H24.5.17 |

### 福島県

- 相馬市(生コン)関係情報連絡会 H23.12.26